



東日暮里幼稚園だより

荒川区立東日暮里幼稚園
／ 荒川区立第三日暮里小学校併設園

発行日 令和4年9月30日

発行者 園長 末永 寿宣

10月

「10の姿」⑤社会生活との関わり

～社会のつながりの中から、人を大切に思う気持ちを育むために～

園長 末永 寿宣

子どもたちは、家族に温かく見守られているという実感をもつことによって、世界を広げ、社会と関わる基盤を作っていきます。今年も下半期を迎えました。ここで一度立ち止まって、子どもたちが社会生活の関わりを育むためには、どのようにすればよいか一緒に考えていきましょう。

本園では、家族を大切にすること、様々な人々に親しみをもつ機会を作ること、情報との出会いを促すことを強く意識しながら、日々の教育活動を進めています。

それでは、その実践の一端を9月の活動の中からご紹介します。

3歳 もも組

感染症対策をしっかりと行い、手形スタンプに挑戦しました。筆で絵の具をつけ、紙に押し当てます。学期ごとに手形を取り、身体測定以外でも子どもの成長をご家族に知らせています。

キツネやパンダのパペットを使って子ども同士で挨拶ごっこをしたり、話しかけたりしています。自分ではない物になりきることが楽しいようです。

また、折り紙制作では、おうど色とこげ茶を用意し栗を作りました。お家で栗を食べた話もしてくれました。

家族や先生、友だちなど人とのさまざまな関わり方に気づき、自分の周りの人に親しみをもつようになっていたり、公共の施設を大切に利用したりするなどして、社会とのつながりなどを年少さんから意識するように工夫しています。





4歳 たんぽぽ組

プールが始まると、先生や友だちと一緒に様々な活動を楽しみました。初めのころより、水に顔を近づけられるようになったり、ビート版で浮いたり進んだりすることができるようになりました。

水族館の巨大な水槽では、クラゲやサメ、エイをじっくり観察し、泳ぐペンギンを下から見ることもできました。翌日には、友だちと図鑑で水族館で見た生き物を探しました。

5歳 すみれ組

敬老の日のハガキをポストに投函しました。おじいちゃん、おばあちゃんのもとにハガキが届く日を楽しみにしています。もも、たんぽぽ組の分も合わせて投函しました。

プール納めでは、みんなの前で、得意な泳ぎを披露しました。友だちから拍手をもらい、自信につながりました。

人との関わり方にはさまざまあることに気づき、相手の気持ちを考える子どもに成長していきます。それが、社会生活との関わり方の基盤になっていきます。

本園では、園外活動や交流行事、お年寄りや地域の方、小学生などに関わりを通して、挨拶や言葉遣いなどを学んでいきます。また、普段の園生活でも保護者の方や異年齢の友だちとの関わりを大切にしています。今後も、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

